門　限　　きったか　榮一

秋の美しい月の輝きを待つ空　鶏の群れに
クルマニアたちの有人機の影が交差して暮れてゆく
朝まで残る有明の１４夜の見事な下弦の月
「まもなくか」クルマを食事に行かせ
　白い息がつぶやく

思い出せない大切なこと　記憶が透き通って　空飛ぶ自動車や
鳥と一緒に空に落ちて行くんだ

地表の空気が薄くなってる
お店を出る時会計したのに御店の人が　この人を追っかけて
「お買い物ですよ」
一つか二つを処理する酸素量　パッと立てない
でも　おなか一杯酸素がすえるとたくさんのことを思い出すし
知ってるよ

文化の日以後　週日の３０分面会は7時まで延長します
５時以降正面玄関閉鎖・夜間出入り口へお回り下さい
マフィアの黒い帽子にステッキな老人は正面玄関が明るいので
ひとまずそこに向かった
ドアが開きホールの中は待っていてくれたように暖かかった
右手のドアの正面が事務局の接客窓口で　明りがともり
カーテンの向こうに人の気配があった

ドアは押しても引いても動かない　開けなければと力を込め
たっぷりと空気を吸っている　ガラスのドアはギシギシ体を
反らせて抵抗する　「メリメリ・メリー！」　囃し立てる不穏
の声―その瞬間　事務局の人が厳しい顔で飛んできた　開け
ることしか考えなかった老人は「開かないんです」すると
事務局の方の表情が優しくなった「ここは5時で閉まります
夜間入り口は建物を回った本院とつながる通路にありますよ」

いつも事務局の上席に座っている男性だった　深々と一礼する　破壊行為の自覚はあるのか

＊　　＊

奥方の部屋を目指して低酸素特有の時々足がふらりと横にずれる歩き方で部屋に入る　気配で彼女は来訪を知る　こつこつと音をたてるが　いつもの杖はどかに置き忘れて音が違う
今までで一番和(なご)やかで幸せそうな表情でうとうとしている
見つめるだけにしよう

看護師さんが　リズミカルに名前を呼んで近づく
「治りましたね　両目がパッチリ開いてる！」思わず立ち上がる
正式の点眼洗浄　最初可能な訪問医が1名　制度で往復１００キロは無理　みかねて院長処方が下され「眼科でないので飲み薬の処方肝臓などを痛める恐れで間欠的に」となった　願いをためらう度に皆さんの要望をかなえることは大切と男性と女性のマネージャーにはげまされこみ上げるものがあった

♪今日の吟遊詩人は　雪をテーマでーす
雪合戦　雪だるま　雪すべり　幼い頃君もしたよね
ほら 真っ赤な三角帽子で　イギリスで上の子が妹を箱ソリにのせて肩で引っ張ってやってたの　可愛かったよね
今日は「ゆきのうた」「ゆきやコンコあられやコンコ」の犬と猫になりまーす　ここでは酸素タップリになっちまう　不思議！
魔法の言葉はキックキック　トントン　だよーーーー
そしてこの晩　行き交うスタフは笑顔で「有難うございます」と帰りの挨拶に答えて下さった

――次の日　男性は明るく　おおらか・・女性は完全無視か　刺すようなウチ等の若い頃のヤンキーの視線・・ちがう！　じっと見返す真剣なきらきらの瞳は見ている　何百人もの人を迎え入れたガラスが死んで瓦礫に渦まるテロ並みの　あり得た一つの未来を！

２０２６　１１０８　了